

# 感染防止の意識と対策を高める！

新型コロナウイルス感染症の拡大が続く中、新潟市では新型コロナウイルス感染症対策本部会議が9月1日（水）に開催され、今後の対策について協議されました。そこで、部活動や修学旅行といった学校に直接関係する内容や、公共施設の利用や学校開放といった社会生活・地域での活動に関する内容で、一定期間の休止などの制限が決定しました。

これまでも、県の特別警報を受けて、市内でも飲食店への時短要請などが行われていました。今回、このような対策が決定されたことを受けて、これまで以上に「自分事」としての意識をもって感染防止に取り組んでいく必要があると、強く感じています。

\*\*\*\*\*

## 徹底すべき対策は「マスク着用」と「換気の徹底」

最近では、感染力の強い「デルタ株」による感染が主流となっています。これまで行ってきた対策を継続するとともに、対策の強化にも積極的に取り組んでいきましょう。

### 大中生のマスクの着用状況は Very Good !

できれば「不織布」で、できるだけ「顔に密着」させて！

特別な状況を除いて、大中生のマスク着用率は100%です。これを継続しながら、感染防止効果をさらに高める工夫をしていきましょう。

「不織布マスク」は、飛沫やウイルスの飛散・吸い込み防止効果がウレタンや布のマスクよりも高いことが分かっています。また、マスク着用の際には「顔とのすき間をつくらない」ことが、効果を高めるポイントです。「鼻出し」はダメ、効果が半減してしまいます。

ちょっとした心がけで、自分や仲間のリスクが下がります！



マスク 100% !

大形中学校 校長室だより  
夢・希望・未来

令和3年9月6日  
第12号

### 「換気の徹底」はデルタ株対策の基本！そして効果は絶大！

飛沫感染や接触感染とともに、「エアロゾル」と呼ばれる非常に小さな飛沫の粒子が長時間空中を漂うことによる感染が、数多く報告されています。

そこで対策として有効なのは、徹底した換気です。これまでも、教室の窓や出入り口、欄間の一部を開けて換気をしていましたが、これからのポイントは「常時換気」と「換気の効率化」です。窓を全開に近いくらい開放して授業を受けているクラスもあります。徹底的にやりましょう！



決め手は「常時」だぜ！

\*\*\*\*\*

## 学校の使命…濃厚接触を防ぎながら教育活動を推進する

現状では、学校や家庭でどれだけ対策を徹底していても、感染リスクをゼロにすることは困難です。それを踏まえつつ学校と家庭で取り組むことは、とにかく感染リスクを下げることに。これは感染防止対策の基本です。その上で、学校として特に意識すべきは、次の2つであると考えています。

- ① 生徒の学びを止めない。安全・安心を保ちながら、学校教育としての学びを力強く推進する。
- ② 陽性者が確認されたときに備え、周辺の生徒が「濃厚接触者」とならないための対策を徹底する。

学校でも家庭でも、生徒が濃厚接触者となった場合、検査によって本人の陰性が確認されても、その後しばらくの期間は自宅待機が求められます。学校では、それが長期の学級閉鎖等につながることも考えられます。

そのため、学校では、もしも教職員や生徒に陽性者が確認された場合でも、その影響を最小限に食い止めるために、日ごろから教職員、生徒の双方が感染防止、感染拡大防止に向けて意識を高めながら、その意識を対策の強化・徹底につなげて取り組んでいきます。そして、生徒の貴重な学びの機会確保に可能な限り努めていきます。

生徒の皆さんへ。家族で濃厚接触者や検査対象者などが出て、不安な思いをしている仲間がいます。また、今後、自分や仲間が濃厚接触者や陽性者となることも考えられます。でも、そんな時こそ、大中生の真価が問われます。不安や切ない思いを抱えた仲間を優しく見守り、支えていける大中学生であってほしいと思います。